

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年11月2日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12310
政策名(章)	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当部	保健福祉部
基本施策名(節名)	第3節 市民医療の充実	評価担当課	地域医療課
施策名	地域医療体制の充実	課長名	近藤 敏男

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

高度化・多様化する市民の医療ニーズに応えるため、医療機関相互の連携を図るとともに、身近な地域で適切な医療が受けられるような体制づくりを行う。合わせて、保健医療を支える人材確保の観点から、看護職員の確保対策についても支援を行う。また、医療血液の需要に対応するため、献血事業を推進する。
適切な医療サービスに対応していくため、医療供給体制の整備促進を図っている。また、看護職員の離職防止対策、就学資金の貸付事業等養成確保について対応を行っている。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		203,557	相模原看護専門学校の移転が完了したため、それに伴う経費の減
人件費		49,105	
市民一人あたりの事業費	745	379	
合計	458,686	252,662	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

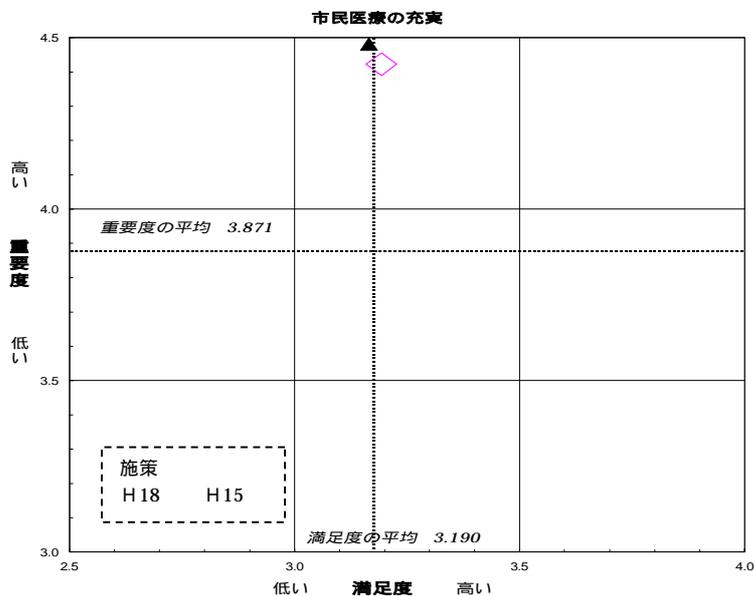
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	県の医療計画における東北地区の基準病床数に対する市内病床の充足率	市内病床数 / 東北地区基準病床数 × 100	123%	14
指標2	看護師の市内定着の割合(看護師等が就学資金を借り受け、卒業後市内に3年間勤務した割合)	看護師等就学資金借受者が3年間市内就職した数 / 看護師等就学資金借受者が3年前に卒業した数 × 100	49%	14
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	5857 / 7614	19	100%	21	100%	県医療計画における基準病床数に対する充足率を目標値としている。既に充足率を超えている。
達成率	130 %					
指標2	41 / 26	19	100%	21	100%	就学資金の借り受け者の市内就職の状況により定着率を把握する。
達成率	63.4 %					
指標3						
達成率	#DIV/0! %					
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.193で51施策の中で24番目。
 重要度は4.422で1番目である。
 改善要望度は0.3875で3番目である。
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、20、40歳代で低くなっている。
 重要度は30歳代でもっとも高い。また、全ての年代で上位10施策に入っている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、70歳以上で前回調査より大幅に上がり、50歳代で下がっている。
 重要度の順位では、大きな違いはみられない。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	看護職員の育成・確保対策事業は、看護師等就学資金貸付事業における市内への定着率は平成14年度に比して伸びてはいるものの約64%となっている。また、健康さがみはらは各戸に新聞折込で配布しているもので、健康に対する啓発と予防に関する情報提供を広く市民に周知することができる。
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	2 1	満足度及び重要度ともに平均を上回っており、特に重要度は高い位置にある。
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)
			1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	看護師等就学資金貸付事業における看護師の市内定着率は向上しているが、まだ低いので、定着のための方策を検討する必要がある。
解決策	

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

課題に対する具体的な解決策を検討し、課題の克服に努める必要がある。	2次評価 B
-----------------------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

